

○ 有松まちづくりの会 役員会

○平成30年度 総会開催について

総会日時：5月17日（木）13：30～絞会館 会員の皆様のご出席をお願いします。

講演会：「希望学から見た有松絞りの展望」、講師：梅原浩次郎氏（愛知県立大学講師）

○小路名称看板設置について（広報部からの提案）

小路名称看板を30年度2基設置する提案があり、承認されました。

○第4回有松福よせ雛について（同実行委員会からの提案）

来年の2月下旬～3月下旬に29年度と同様実施する提案があり、承認されました。

（上記2件、NPO法人コンソーシアム有松（CAN）を通じて名古屋市に支援要請をする）

○ 有松町並み相談会の委員交代

町内会会長交代による有松町並み相談会委員の一部変更がありました。

今期の委員は次の通り

西町：久野日出雄さん、上村忠徳さん、中町：久野剛資さん、山口弘さん、

東町：服部美和さん、加藤達芳さん、区政協力委員会：小澤武夫さん

まちづくりの会：阿知葉征彦さん、山田修生さん、商店会：長塚啓さん、絞組合：中濱豊さん

町並み保存地区内の建物・色・看板等は町並みに合った景観が求められています。よってそれらを変更する場合はすべて事前に町並み相談会とご相談の上、名古屋市に変更申請をしてください。

○ 有松桶狭間観光振興協議会

○東町・布袋車の大幕新調計画について（文嶺講からの報告）

大幕を4年ごとに1枚新調し、16年かけて4枚を新調する計画を立てました。

多額な費用が掛かりますので皆様の支援を切にお願いいたします。

○ 有松観光案内処の再開（NPO法人コンソーシアム有松）

有松に観光で訪れる方にとって観光案内所は欠かせないとの思いから、3月末で閉処された「有松観光案内処（西）」をNPO法人コンソーシアム有松が4月20日から「有松観光案内処」として開処させました。

開処に先駆け4月17日に、地元有松の諸団体の代表者に向け説明会が持たれ、オール有松で観光案内処を維持していく協力依頼がなされました。

名古屋市の観光推進室の室長さんや担当の方も同席され、観光客の志向は体験型に向かっていること等興味深いお話も聞かれました。

「有松観光案内処」は、金・土・日・祝の10時～16時に開処されます。



案内処の開設について説明する
中村倭子理事長

○ 第11回「桶狭間古戦場保存会」総会 開催される（4月15日） P-2

任意団体である桶狭間古戦場保存会の最後となる総会が桶狭間公民館で開かれました。

開会挨拶で会長の梶野泉さんは、保存会発足以来の事業活動を振り返り「桶狭間の戦い450年記念事業として公園の整備、信長像・義元像の建立、ゆるキャラのおけわんこの制作、愛知武将ワールドの開催、信長攻路の設定など地元の人々のご協力及び行政の支援で行ってきました。そして今後の活動がより行いやすいNPO法人に移行します」と話されました。

その後の総会で「特定非営利活動法人 桶狭間まちづくりと桶狭間古戦場を保存する会（通称NPO法人桶狭間古戦場保存会）」への移行提案が承認されました。



開会挨拶をする梶野泉会長

○ 平成30年度ミス絞り・有松福男決まる（4月28日）

平成という年度では最終となる平成30年度の「ミス絞り・有松福男」の発表が絞会館でありました。

絞りまつりに華を添えるミス絞りへの応募に51名の申し込みがあり、一次（書類）審査で16名に絞られ、二次（面接）審査で、播本恵美莉さんと高澤怜那さんが選ばれ、一方有松福男には緑区内の銀行員の中から高橋相紀さんと金子和将さんが選ばれました。皆様は一樣に、絞りを着て有松の良さをPRしたいと抱負を述べておりました。



○ まちなみ研修「日本遺産 齋宮博物館を訪ねて」（4月26日）

現在有松まちづくりの会では有松を日本遺産にすべく活動中で、今回の研修旅行は最初に日本遺産に認定された三重県明和町の「祈る皇女齋王のみやこ 齋宮」を中心に研修旅行が行われました。

有松を出発し、まず松阪を訪れ、三井家（越後屋→三越）発祥の地や松阪商人の館（小津清左衛門邸）などを案内人の説明で見学しました。

昼食の後、明和町の、伊勢神宮に仕えた齋王（未婚の皇族女子）が居住した宮殿、および齋王に仕えた官人の役所である齋宮寮の遺跡の上に建てられた齋宮博物館を見学しました。この建物は遺跡調査終了後、5m程の盛土をした上に建てられた杭のない浮箱型の建物でした。館内には、齋王の暮らし、輿（葱華輦 そうかれん）、原寸大の齋王の居室などが再現展示されていました。また、復現された西脇殿、正殿、東脇殿も見学しました。



説明に熱心に聞き入る研修参加者

その後、水運により「伊勢の台所」として栄えた伊勢河崎を見学、伊勢外宮にお参りをして、帰路につきました。

○ 有松町並み見学会（4月28日、有松あないびとの会）

有松まちづくりの会発足45周年、有松あないびとの会発足15周年を記念し、主として地元有松にお住まいの方に重伝建保存地区に選定された有松の町並みより深くご理解いただく為に、あないびとの会の案内で歩いていただく見学会が行われました。

伝統的建造物の見学や旧家の茶室で抹茶を楽しんだり、中には天満社まで見学し、ふるさと有松の歴史と文化を再認識する見学会でした。

参加者は、有松学区の町内会長さん30名を含め総員で120名でした。



町内会長さんの出発前風景

○ 30年度「桶狭間塾」開講（4月22日）

昨年に引き続いて、30年度の桶狭間塾が桶狭間公民館にて、塾生50人の参加によりスタートしました。

開催にあたり最初に会長（梶野泉氏）から組織の法人化により、組織名称はNPO法人桶狭間古戦場保存会と変更されましたが、塾は従来通り運営しますので一緒に頑張りましょう、との挨拶がありました。参加者全員、一年間楽しく学ぶ決意を新たにしました。

初日は桶狭間の歴史と民話についての講義でした。

講座は、来年2月まで現地学習3回を含め計8回、行われる予定です。



塾講義風景

○ 国道1号線に「桶狭間古戦場公園」案内看板が設置される

緑区の桶狭間古戦場公園への道案内看板が、有松小学校と有松中学校を結ぶ国道1号線に架かる人道橋に設置されました。

桶狭間の戦いが行われた場所、特に、今川義元公が服部小平太、毛利新介に討ち取られた場所については諸説がありますが、桶狭間古戦場保存会は信長公記の「深田の中」との記述に基づき、現在の桶狭間古戦場公園近辺と断定しています。

桶狭間古戦場保存会ガイド部の話として、バスのお客様を約束の桶狭間古戦場で待っていてもなかなか来られない。お客様に電話をしたら、豊明の古戦場に居ると云われたことが時々あったそうです。

案内看板が出来たことで、迷わず桶狭間古戦場公園にお出かけいただけられると思われそうですし、桶狭間古戦場公園の宣伝にもなります。



1号線陸橋に取り付けられた「桶狭間古戦場公園」案内看板

○ 松平元康 大高城兵糧入れ（3月11日）

6年前に桶狭間武将三路（信長路、今川路、家康路）が設定されたことを機に、家康路を通る「松平元康（後の徳川家康）大高城兵糧入れ」の行軍が桶狭間古戦場保存会主催で行われました。

今回は「松平元康大高城兵糧入れ再現ウォーキング」として再び開催され、桶狭間古戦場保存会の武将隊に愛知戦国武将隊も加わり、盛大に実施されました。

進軍コースは、先回と同じく桶狭間神明社→大高緑地公園→大高城 の4.5kmでした。参加者は、武者80名、一般参加70名程でした。



桶狭間神明社を出発する松平元康

○ 有松中学校生徒数1000人越え

有松中学校に有松学区、桶狭間学区、南陵学区の生徒が通学していて、今年度に入って生徒数が1,037人となり、名古屋市立中学校では三番目のマンモス校になりました。

生徒数増加に伴って、プレハブの校舎が増築され、運動場も少し狭くなりましたが、野球部や陸上競技部は、ひるまず活発に活動しています。

有松中学校は、先生に悩みを打ち明けやすく、みんな仲がいいということで評判です。



増築されたプレハブ校舎

○ 催事・行事の予定

- ・5月06日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会（仮称）
- ・5月13日（日） 10:00 今川義元慰霊祭 桶狭間古戦場 桶狭間古戦場保存会
- ・5月17日（木） 13:30 有松まちづくりの会 総会 校会館
 " 14:30 講演 題目「希望学から見た有松絞りの展望」
 講師 梅原 浩次郎氏（愛知県立大学 講師）
- ・5月19日（土） 09:30 竹田邸出立ち 有松天満社神前結婚式 挙式 文嶺講
- ・5月20日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会（仮称）
 " 14:00 オーボエ・落語 竹田邸3番蔵 ぴあサポートわかば会
- ・5月27日（日） 07:30 かえで道の清掃
 " 09:00 学区一斉町美運動 各町内会
- ・6月2日・3日 09:00 第34回 有松絞りまつり 有松東海道一帯 絞りまつり実行委員会

発行者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 副会長）

編集者：加藤 一成（有松まちづくりの会 広報部員）

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索